しあわせ信州
自然を守り共に生きる

長野県（農政部）プレスリリース　令和8年（2026 年）11 月 26 日

「信州農業“刷新”戦略」を策定しました

～次の世代へつなぐため、農業の構造を転換～

県内では、10 年後の担い手が明確でない農地が約 35%に及び、このままでは、食料の生産基盤だけでなく、農業を中心に築かれてきた地域の暮らしやコミュニティも失われかねない状況です。

県では、こうした危機を乗り越え、信州農業を次の世代へつなぐため、長野県食と農業農村振興審議会、ＪＡグループ、市町村、農業団体など幅広い皆様から御意見を伺い、本県農業の目指す姿と、今後進めるべき改革の方向性を示す「信州農業“刷新”戦略」を策定しました。

1　戦略の概要

若者や企業から選ばれる「稼げる産業」へ転換し、経営体、農地、人材がつながる好循環を生み出します。一方、地域の暮らしや景観、文化を支える農地は、その役割を地域で共有し、守っていきます。

＜目指す姿＞

- 法人などの持続可能な経営体が地域農業を支え、雇用と活力を生み出す
- 稼ぐための農地を明確にし、使いやすく整え、意欲ある担い手につなぐ
- 地域が求める人材や企業を呼び込み、定着を支える
- 農村の暮らしを支える農地を明確にし、地域の合意の下で守る



「信州農業“刷新”戦略」表紙

＜取組の柱；刷新の３Ｓ（スリーエス）＞

【Shift(転換)】
～担い手構造 の 刷新～
法人・企業が地域農業をけん引
「個人経営中心の農業」から「法人が支える農業」へ

【Select(選抜)】
～農地基盤 の 刷新～
農地の果たす役割の明確化と重点化
「一律的な維持・活用」から「役割に応じた重点投資」へ

【Settle(定着)】
～受入基盤 の 刷新～
「日本一就農・定着しやすい」県の実現
「待ちの就農支援体制」から「地域が呼び込み、育て、定着を支える日本一の仕組み」へ

2　今後の進め方

市町村や地域の皆様に、地域計画※の継続的な見直しに当たり、それぞれの地域の将来を考え、具体的な行動につなげるための指針としてご活用いただきます。

県も関係機関と力を合わせ、地域の話合いから具体的な取組の実行まで伴走支援します。

※ 地域での話合いにより目指すべき将来の農地の利用を明確化する計画

戦略全体については、以下の URL 及び右の二次元コードからダウンロードできます。
〈https://www.pref.nagano.lg.jp/nosei/261126sasshin.html〉

確かな暮らしを守り、
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン 3.0
～大変革への挑戦 「ゆたかな社会」を実現するために～

［長野県総合５か年計画推進中］

（問合せ先）
担当　農政部農村振興課
地域営農係　中田、林
電話　026-235-7245（直通）
026-232-0111（代表）内線 3113
ＦＡＸ　026-235-7483
E-mail noson@pref.nagano.lg.jp